

社会福祉士実習教育支援者研修

報告 実習教育支援委員会

2月13日午後、兵庫県民会館にて「実習教育支援者研修」を開催しました。

実習教育支援委員会では、永らく「実習指導者フォローアップ研修」を開催してきましたが、今回は対象者を実習指導者に限定せず、広く養成校で実習教育に関わっている方にも参加を呼びかけました。結果として8名の養成校関係者を含め41人で意見交換することができ、立場を超えて交流することができました。

実習教育支援委員会は、近畿ブロック各県士会（大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山）の実習委員会メンバーと連携しています。今回は、大阪から4名、京都から5名の方が来られました。

「講義 実習評価の実際（養成校から） 60分」、「講義&演習 実習評価の実際（実習受入施設から） 60分」、「演習 実習コメントの考え方 60分」と内容が盛りだくさんで、時間不足でしたので、次回以降の研修内容でまた工夫してみようという話になりました。

懇親会（11名参加）でも、後進の育成に直結する実習教育について熱心な議論が続き、「実習生が社会福祉士になって社会福祉士会に入会してくれることになった。」、「実習生が就職につながって、法人の他部署の職員も社会福祉士実習にとっても協力的になってきた。」など、うれしい話題提供もありました。



次回の実習教育支援者研修は6月11日（土）の予定です。ご期待ください。